

I. Zoom や WebEx 等のオンライン会議／研修会へ参加する前に

1. 「Zoom(オンライン会議、セミナー)って危険？」

- いいえ。会議や研修会の都度ごとに ID とパスコードを発行していれば、知らない人はまず、入ってこられません (ID の使いまわしは危険)。
- 当初報道された「Zoom 爆弾 (妙な画像を参加者に見せる)」は、セミナー等の場合、ホスト側で「参加者は画面共有をできない」設定にしておくことで防げます (講師は画面共有可に設定)。会議の場合、全員に画面共有を許可しますが、「待合室」を設定し、そこで入室者を制限します。また、全員が入ってきたら部屋に鍵をかけることで、たとえ、悪意ある人がその部屋の ID やパスコードを知っていたとしても、入室を制限できます。知っている人が暴れたら？ それはセキュリティとは別の話です (笑)
- 個人情報 that 抜き取られることはありません (通常の SNS のほうがよほど個人情報を抜き取っています)。研修会や会議の主催者が参加者に ID とパスコードを送りますので、講師等が全員のアドレスを知る必要はありません。
- あとは、一人ひとりが常識的な安全行動をネット上でしているかどうかだけ。

2. 「Wi-Fi がないから」「パソコンがないから」…

- Wi-Fi (無線) 神話は捨てましょう。LAN (ラン、有線) や 4G/LTE (通常のスマホ電話回線) のほうが、速くスムーズな場合が多々あります。その場、その時間で決めましょう。
※時間により、園内や周囲の建物で Wi-Fi が使われていたら遅くなる。=画像が凍る。
※園内の Wi-Fi ルーターから遠い場所、コンクリートに囲まれた部屋等は遅くなる。
※Wi-Fi や 4G/LTE は、速度制限がかかっていたら遅くなる。
- 古いパソコンより、スマホやタブレットのほうが音も画像もきれいです。
- 4G/LTE を使ってスマホ等で研修を 2 時間受講した場合、使うのは 300 メガバイト程度 (講師が動画を使う、質疑応答が増える等で使用バイト数は増えます)。受講者側がカメラを切れば、使用バイト量はさらに減ります (受講確認が必要な場合は、カメラは常にオン)。

※速度は、fast.com 等の「回線速度 (検索)」サイトで、接続前に調べましょう。「ダウンロード」はデータが降りてくる速度 (見る／聞く時)、「アップロード」はデータを上げる速度 (自分が発言したりデータを共有したりする時) を示します。2Mbps 程度あれば Zoom は使えます。(帯域は Zoom のサイトに書いてあります。必要な場合は、下の短縮 URL をコピーしてご覧ください。リンクは発信元の都合で勝手になくなることがあります。)

Zoom-Support→Zoom をはじめる前にシステム要件およびネットワーク必要要件→必要なネットワーク帯域を教えてください <https://bit.ly/3fugJHb>

- Wi-Fi でも 4G/LTE でも LAN でも、回線速度サイトを使って園内で回線速度が速い場所を見つけ、そこで受信しましょう。

※画面が「凍る」ことには速度以外の要因も関わっていますので、完全に凍らないようにはできません。また、途中で接続が切れることはあります(ホストが落ちることもあります)。気にしないで接続しなおし、入り直してください。機器を再起動してみるのも一策。災害や交通事故で会議や研修会へ行けなくなる／遅刻することを考えたら、ほんの数分の損失なんて、気にする話じゃありません。落ち着いて！

3. では、ソフト／アプリをダウンロード、インストールしましょう (Zoom)

★別マニュアル参照。初回のみ★

- 複数の機械 (パソコン、スマホ、タブレット) にインストールしておきましょう。1台が当日、使えなかった時にあわてないため、です。
- 当日、どうしてもダメという場合は、一度、ソフト／アプリをアンインストール (削除) してから、インストールし直すと大丈夫ということがあるようです。
- これは、会議や研修会に参加するためです。ホストになるためには、Zoom や WebEx のアカウントを取得する必要があります (無料アカウントあり)。

★ 機能は増えています。アプリは定期的にアップデート！ <https://zoom.us/download>

4. 音声テストをしておく (Zoom)



このアイコンが出ている時は、オーディオ未接続

- 送られてきたリンク、または ID とパスコードで入室して、「コンピュータでオーディオに参加」をクリック (←★重要★ これをクリックしないと、マイクもスピーカーも使えません)。1) その時に「オーディオのテスト」をクリックするか、2) Zoom 画面が開かれてから、「ミュート」ボタン横の山型マークから「スピーカー＆マイクをテストする」を選び、音声テストをします。必ず、音声が出ているこの状態で→
- 問題がある場合は、同じ山型マークから「オーディオ設定」を選び、正しいマイクが選ばれているか (特に、外部マイクを使っている時)、マイクとスピーカーの音量が出ているかなどをチェックします。
- パソコンの内蔵カメラ、内蔵マイク、スピーカーが機能するかをチェック。古いパソコンの場合は特に注意。付いていても、ドライバが壊れていることも。
- タブレット、スマホの場合は、「設定」から Zoom、WebEx に行き、マイクとカメラを「利用可」にしておく。
- パソコンでマイク、スピーカーが使えない場合、外付けスピーカーやBluetoothウースのヘッドセットで使えるようになることもあります。





- 各種機器を使った接続練習をしてきた経験から、一部のアンドロイド機種の場合、どうしてもスピーカー（及びマイク）が使えないことがあります。受講者側で音が聞こえないのは致命的ですので、音声テストは必ず当日以前にしてください。また、ホストが接続練習を提供している場合は、必ず練習に参加してください。特に、自宅で受講／参加する場合、家にその機器 1 台しかないという場合は必須。
- 研修会を受講するだけなら、自機に必要なのはスピーカーと画面だけです。マイクが使えなくても、質問はチャットで送ることができます。

II. Zoom や WebEx 等のオンライン会議／研修会へ参加する

- 必ず、アプリをインストールした複数の機器を用意しておきましょう。本来の機器が使えない、会議／研修会中に回線が切れる、その機械が落ちる等のリスクを考えて。「園あたり 1 台のみ参加」の場合もバックアップの機器を用意。
- 入室用の直接リンク（URL）では入れない場合もあるので、ID とパスコードも用意。直接リンクを一斉メールで送ると、受け手側サーバーでブロックされてしまうこともあるため、ID とパスコードしか送られてこない場合もあります。

III. Zoom のオンライン会議室へ入ったら

文字は現状ではなく、
「押したらこうなる」の意

- 会議ではミュートを解除 。研修会では質問時以外はミュート 。
- ミュートを解除してハウリングまたは反響（音が二重に聞こえる）が起きたら、至近距離で複数台、Zoom につないでいるためなので、物理的に離れてください。受信しているだけならば、ミュートにしていればハウリングや反響は（たいてい）起きません。
- パソコンの場合、カーソルを動かして画面下部に現れるメニューから、「参加者」と「チャット」をクリック。画面右に参加者の名前とチャット画面が表示されます。チャットで質問等を送ることができます（全員または特定の相手）。スマホやタブレットでも画面をタップして、「詳細」等から「チャット」を表示できます。音声トラブル時のためにも、チャット機能は必ず使えるようにしておきましょう。
- パソコンの場合、自分の画像上で右クリックすると「名前の変更」ができます。園名や個人名に変えましょう。スマホ等の場合、画面をタップすると「参加者」が出てきますので、同様に自分の名前を変えてください。研修会の場合、機器の機種名やニックネームのままでは、出席確認ができません。ホストがギャラリービューのスクリーンショットを撮れば（またはプリントスクリーン）、それで受講確認になります。